

令和2年7月21日

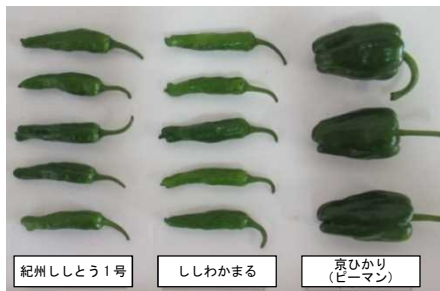
記者発表

辛味果実が発生しない ししとうがらし 新品種 「ししわかまる」を開発しました

(令和2年7月9日品種登録出願公表、品種登録出願番号：第34586号)

ししとうがらしは、本県では山間部を中心に栽培され、全国第3位の出荷量があります。しかし、栽培条件によって辛味果実が発生し、問題となっています。

そこで、県農業試験場暖地園芸センターでは、京都教育大学との共同研究により、在来品種「紀州ししとう1号」に、辛味成分を合成しない特性を持つピーマン品種を交雑し、DNA マーカー選抜技術※を用い、辛味果実が発生しない ししとうがらし新品種「ししわかまる」を開発しました。

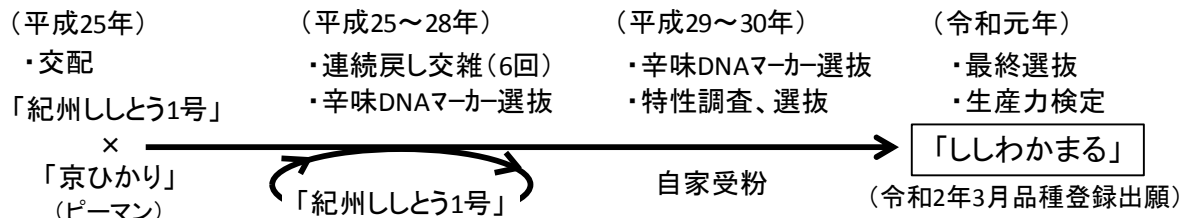


※ DNA マーカー選抜：特定の遺伝子（今回の場合は辛味成分を合成する遺伝子）の有無を分析することで目的とする個体を選抜する技術。幼植物での選抜が可能で、育種に要する年月を大幅に短縮できる。

○「ししわかまる」の特性

項目	特徴
果実特性	果実の大きさ、色、形などの外観は「紀州ししとう1号」と同等
収量性	収量や秀品率は「紀州ししとう1号」と同等
辛味果実の発生	辛味成分を合成する遺伝子を持っていない 〔食味調査では辛味果実の発生は確認されていない 果実成分分析では辛味成分のカプサイシンは検出されていない〕

○育成の経過



○今後の予定

- 令和3年の種苗供給に向けて準備中
(令和2年は県内各地で試験栽培を実施中、令和2年7月頃から一部収穫を開始)

○関連する事業名

農林水産基礎研究「次世代の暖地型野菜・花き新品種素材の育成」

お問い合わせ先

農業試験場暖地園芸センター 田中・播磨 (電話 0738-23-4005)

研究推進室

西森・関口 (電話 073-441-2995)